

## ♪ 盛り上がる まちづくり活動 ♪



特集「全力取材！まちづくり活動団体交流会・クリスマスコンサート 2024」P2～P3・町政を問う一般質問 P10～P15



# 取材!

## まちづくり活動団体交流会

交流会とクリスマスコンサート2024が開催されました。それぞれ取材させていただきました。



町内で活動している団体や個人ボランティアの皆さん34名の参加のもと開催され、第1部は、「福岡市NPO・ボランティア交流センターあすみん」でセンター長を務められている中村義輝氏なかむらよしてるを講師に迎え、「ボランティアって何だろう? メンバーはどうやれば集まる?」と題した講演会、第2部はグループワークが行われました。

講演会では、ボランティア活動の4原則「自発性・社会性・無償性・創造性」を中心に話が進められ、民間の活動が社会課題の解決には不可欠、「問題ありき」より「楽しみありき」の方が繋がりがやすいなどのお話がありました。

グループワークでは、

テーブルごとのグループで新しい市民団体を作つたという仮定で、町のいところ、課題を洗い出し、双方を関連させて課題を解決するという作業をみんなで行いました。各テーブルとも意見が活発に出されてとても盛り上がり、時間を30分延長するほどでした。

こんなにもまちづくりに熱い皆さんがいることが大変心強く、議会も行政・町民の皆さんとともに、「共に創るまちづくり」に取り組みたいと思います。



### 粕屋町まちづくり交流会

- ワーク
- 説明の構成
- 取り組む課題・問題は?
  - どんな特色・魅力と掛け合わせますか?
  - 何年かけて達成しますか?
  - 具体的には、何をしますか?
  - 成功のポイントはどこですか?

# クリスマス コンサート2024

# 全カ

12月に2つのまちづくり活動イベント、まちづくり活動団体  
議会広報としてもとても気になる内容であり、

## 粕屋町歌『明日をめざして』

作詞/谷川元 補作詞/島田陽子  
作曲/池田八声 伴奏編曲/島添多加子



## かすやコーラスうたい隊と 音楽仲間のクリスマスコンサート

まちづくり活動団体「かすやコーラスうたい隊」から「クリスマスコンサート2024」へのお誘いがあり、取材しました。  
\*会場は始まる前から行列ができ、福岡魁誠高校ボランティア部が受付に当たっておられ、粕屋中学校放送部の司会で始まりました。  
かすやコーラスうたい隊と音楽仲間による合唱、子どもたちのトーンチャイム演奏、他にもさまざまな世代の方のハーモニカ、尺八、フルート演奏など盛りだくさんで、会場全体が感動に包まれていました。  
短い準備期間だったようですが、まちづくり活動支援室の応援と共にみんなで作り上げた心温まるコンサート。「かすやコーラスうたい隊」の皆さんが望んでいる「音楽で地域を盛り上げる」一歩を踏み出したのではないのでしょうか。議会からもエールを送ります。

かすやコーラスうたい隊と音楽仲間による合唱、子どもたちのトーンチャイム演奏、他にもさまざまな世代の方のハーモニカ、尺八、フルート演奏など盛りだくさんで、会場全体が感動に包まれていました。  
短い準備期間だったようですが、まちづくり活



クリスマスコンサート

審議結果

委員会レポート

委員会レポート

一般質問

一般質問

一般質問

# 議会ピックアップ

## 令和6年第4回(12月)定例会

12月定例会は11月29日から12月10日までの12日間の会期で開催されました。

- ①粕屋町駅舎コミュニティホール(原町・伊賀)の利用料金が改定されます  
町有の同種施設と比較し安価であることから、適正な運用を図るため利用料金が見直されます。

(単位：円 税込／1時間)	現 行		改 訂 後	
	町内・町外		町内※1	町外※2
ハーモニーホール原町	150		300	600
ハーモニーホール伊賀	100		200	400

- ※1:「町内」とは  
申請者(代表者)が町内居住者で、全入場者等に占める町内居住者の割合が50%以上
- ※2:「町外」とは  
(1)申請者(代表者)が町外居住者  
(2)申請者(代表者)が町内居住者で、全入場者に占める町内居住者の割合が50%未満



JR原町駅 併設のハーモニーホール原町

■施行日：令和7年4月1日

### 議会の意見：委員長報告から

コミュニティホールの利用率が低いので、利用しやすい環境整備も必要では。

- ②粕屋町総合体育館(かすやドーム)の定期券利用が開始されます

粕屋町総合体育館の利用促進を目的とし、月極め個人利用料金(定期券)方式が導入され、利用料金が新設されます。

■定期券の一例／トレーニング室利用の場合

【フルデイ25日利用】

◆ 一 般 ▶ 町内:3,750円 町外:5,630円

◆ 65才以上 ▶ 町内:2,500円 町外:2,750円

【ウィークデイ17日利用】

◆ 一 般 ▶ 町内:2,550円 町外:3,830円

◆ 65才以上 ▶ 町内:1,700円 町外:1,870円

■施行日：令和7年4月1日



かすやドーム トレーニング室

### 常任委員会での質疑の一部

Q: 定期券導入に伴う民間との差別化は。

A: 近隣の民間施設は24時間営業が多く、かすやドームは日中利用のみだがその分安価に利用できる。利用者の多くは高齢者であり、民間施設との差別化はできている。

# 一目でわかる審議結果

令和6年12月定例会に提出されたのは、議案16件、決議1件です。

議案番号	◎議案名 (わかりやすい文言に置き換えています)	採決結果	賛成(人)	古家昌和	田代勸	杉野公彦	宮崎広子	末若憲治	井上正宏	案浦兼敏	鞭馬直澄	川口晃	福永善之	田川正治	久我純治	本田芳枝	山脇秀隆	安藤和寿	小池弘基	
74	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理	可決	13	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	議長は採決にわりません
77	令和6年度 一般会計補正予算(第6回)	可決	14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
78	令和6年度 国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	可決	13	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	
79	令和6年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	可決	13	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	

○⇒賛成 ●⇒反対 →⇒退席 欠⇒欠席

以下の議案は令和6年12月定例会にて全会一致で原案通り可決(承認・同意)しました

議案番号	◎議案名	議案番号	◎議案名
68	専決処分の承認 (令和6年度 一般会計補正予算(第4回))	76	国民健康保険高額療養資金貸付基金条例の廃止
69	専決処分の承認 (令和6年度 一般会計補正予算(第5回))	80	令和6年度 介護保険特別会計補正予算(第2回)
70	監査委員の選任同意(再任)(柴田俊一 氏) <small>しばたしゅんいち</small>	81	令和6年度 水道事業会計補正予算(第2回)
71	道路占用料徴収条例の一部改正	82	令和6年度 流域関連公共下水道事業会計補正予算(第2回)
72	水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正	83	指定管理者(福祉センター)の指定(継続) (社会福祉法人粕屋町社会福祉協議会)
73	駅舎コミュニティホールの設置及び管理に関する条例の一部改正	決議第1号	粕屋町総合計画策定特別委員会設置に関する決議
75	総合体育館設置条例の一部改正		

粕屋町議会  
イメージ  
キャラクター  
「かすカモ」



右のQRコードより採決の様子をホームページでもご覧になれます。

定例会開会日



定例会閉会日



こ いけ ひろ もと  
**小池弘基 議長**  
た がわ まさ はる  
**田川正治 議員**

おめでとうございます

町議会議員として在職15年に達し、永年にわたり町政の発展と町民福祉の増進に貢献されたことにより、小池弘基議長と田川正治議員が、粕屋町自治功労者に推奨されました。



## 総務建設常任委員会

### 「総合計画と総合計画策定条例」の研修会を実施



しまだ あきふみ  
嶋田 暁文 氏

実施日 令和6年11月20日

参加人数 11名(議員)※傍聴の議員を含む

講師 九州大学 大学院法学研究院 教授(行政学)



議会だより  
No.174 秋号

市制移行を見据えた粕屋町の今後のまちづくりの方向性を示すとともに、全ての行政分野における計画の指針となる「第6次粕屋町総合計画」の策定作業が始まりました。(総合計画策定スケジュール、策定方針案に関する議会の意見書については、議会だよりNo.174 秋号を参照してください。)

そこで、議会は、「町民主体による町民のための新しいまちづくり」を進めるための総合計画となるよう、「総合計画と総合計画策定条例の在り方について」の研修会を行いました。

嶋田教授は、他の市町の事例を紹介しながら、次のことをポイントとして説明されました。

- ◎2011年の地方自治法改正で市町村の基本構想の義務づけが廃止されたことに伴う「総合計画不要論」があるが、「これまでの(総花的な)総合計画」は不要であるが、「新しい(戦略型・地域計画型)総合計画」は、これからの自治体運営に不可欠である。
- ◎新しい総合計画では、「何のために」ということを、基本構想から始まって上から下にと「ミッションベース」で考え、それぞれの問題点を解決すべく、原因分析をしっかりと行って、事業を見直し、組み替えていくことが必要である。
- ◎総合計画の策定には、企画部門だけでなく、全庁の職員が主体的に関わることは当然のこととして、議会での議論や住民参加を積極的に仕組む必要がある。
- ◎公開・参加・評価・財務・法務などと、しっかり結びついた総合計画の策定と運用に関する手法の革新とルール化が求められる。粕屋町総合計画策定条例は、一部につき不十分な形で規定するのみにとどまっている。

#### 今後の議会の対応

今後進められる総合計画の策定手続きの中で、町民の積極的な参画と議会の意見が組み込まれるような手法や運用についてのルール化を検討し、条例の見直し案をまとめていきたい。

# 議会広報常任委員会

## 議会改革を進める広報広聴活動について、先進議会を視察

実施日 令和6年10月31日・11月1日

参加人数 8名(議員)

研修費用 524,880円

当町議会が目指す「住民との共創による開かれた議会」を進めるための広報広聴活動について、先進議会を視察しました。

### 神奈川県 開成町議会

議会独自のホームページを開設し「読む」から「魅せる」へ、多様な動画を取り入れて、見たくなる工夫がされています。

議会と住民の双方向のコミュニケーションを重視し、YouTubeのコメント機能やSNSで住民の意見を積極的に受け入れています。また、ホームページ上には意見を投稿できるフォームやアンケート機能が設けられていて、住民の声を反映しやすい仕組みが整っており、住民から寄せられた意見や質問に対して、議会が迅速に回答し、双方向の対話を重視した取り組みがなされています。



### 神奈川県 山北町議会

ホームページや広報紙を活用し、住民からの意見や質問を受け付ける「おしゃべりCafe」や「出張おしゃべりCafe」(偶数月の20日開催)の案内や当日の様子も掲載されており、住民が議会への意見や感想を寄せやすい環境が整っています。

「広報モニター制度」を取り入れて、住民の声を積極的に議会運営に反映させており、議会の透明性だけでなく双方向性もかなり重視されています。



当議会は「開かれた議会への改革」を進めており、令和7年度に取り入れを検討している「議会モニター制度」は視察先でも設置され、「住民の意見を取り入れる仕組み」として生かされていることが確認できました。早期実施に向けて積極的に取り組みを図っていきます。

## 「伝わる」広報紙の企画・編集手法を学ぶため、広報研修会に参加

実施日	令和6年11月26日	参加人数	7名(議員)
研修場所	博多サンヒルズホテル	研修内容	伝わる議会報の企画と編集
講師	一般社団法人 自治体広報広聴研究所 代表理事 広報アドバイザー <small>かな い しげ き</small> 金井 茂樹 氏		

住民に議会を身近に感じてもらうためには、対話を通じたコミュニケーションが重要であることを改めて学びました。また、地域の課題や議会活動を住民に分かりやすく伝えるためには、文字の大きさや色使い、行間や改行位置など、視覚的な工夫を取り入れた読みやすいレイアウトであることが大切です。

今以上に、ウェブサイトやSNSを活用して発信力を強化する必要性も強く実感しました。



今回の研修を通じて、広報活動の基本は住民との対話であることを改めて認識しました。この学びを活かし、今後の広報紙づくりに取り組んでいきたいと思えます。

## 総合計画策定特別委員会

### 第6次粕屋町総合計画に議会も積極的に関与

第5次粕屋町総合計画が令和7年度末をもって終了するため、これまでの取り組みに対する評価・検証を行うとともに、新たな地域の課題、社会情勢の変化を踏まえ、令和8年度から17年度を計画期間とする総合計画が策定されます。

総合計画は、議会の議決事項とされており、市制を見据え、町民主体による町民のための新しいまちづくりを進める上で、重要な計画であるため、本定例会において、設置を決定しました。

総合計画は、6月定例会で「基本構想(案)」、12月定例会で「基本計画(案)」が上程される予定です。議会としては、基本構想・基本計画の各検討段階において、意見・提案が反映できるよう早急に取りまとめていきます。



委員長  
あんのうら かね とし  
案浦 兼敏

副委員長  
たしろ さだむ  
田代 勘

# 議会運営委員会

## 全国からの視察を受け入れ

### 愛知県 東浦町議会

実施日 令和6年10月30日

#### 議会改革と人口増加の取り組みについて

議会改革を行う上でその最高規範となる議会基本条例の検証の経緯とその結果や議会報告会の方法の変遷、さらに各団体との意見交換会後のフィードバックや子ども出前講座、議場見学会の目的などについて熱心な質疑となりました。

また、人口増については、子ども未来課や学校教育課が説明を行いました。



### 北海道<sup>べっ</sup> 標津町議会

実施日 令和6年10月30日

#### 議会改革と防災について

標津町は、北海道の東部にあり海に面し西部には山があります。町の地勢により町議会としては、防災対策を作ることが未だできておらず、粕屋町議会が作成した粕屋町議会災害発生時対応要領に特に関心を持たれていました。

また、議会自由討議の進め方や実績、意見交換会の目的や目標についても質問を受けました。



### 茨城県 町村議会議長会

実施日 令和6年11月7日

#### 議会改革について

茨城県町村議会議長会（11自治体）の視察を受け入れました。

議会改革・活性化の取り組みについて質問があり、議会局をはじめ改革および活性化について説明を行いました。議会改革では、議員間討議の実情や粕屋町議会が町民との意見交換会をどのように進めてきたか、さらにその活動内容について質問がありました。



近年の議会改革により、視察の受け入れが増えてきました。私たち粕屋町議会はこれからも町民との共創のまちづくりを目指して、さらなる改革を進めます。

# 町政を問う 一般質問

令和6年12月  
2日～4日実施

一般質問は定例会で行われ、粕屋町では会期の始めに行っています。議員は町政全般にわたって、町長など執行機関の考えを問いただします。

質問の内容は事前に通告し、持ち時間60分の範囲で1問1答※で行います。

※質問、答弁を理解するまで繰り返す方法

記事は会議録に基づき、議員個々の原稿を議員責任の下に掲載しております。また写真なども議員提出によるものを掲載しています。詳細は会議録【ホームページに掲載】をご参照ください。

掲載は  
質問順と  
しています。

## P10 田川 正治 議員

- ①仲原保育所の建て替えは
- ②会計年度任用職員の処遇改善は

## P11 井上 正宏 議員

- ①ワンヘルス宣言を行うのか

## P11 鞭馬 直澄 議員

- ①住民に対する防災知識の普及は

## P12 案浦 兼敏 議員

- ①市制移行に向けての対策は
- ②南里新大間線の早期整備は

## P12 宮崎 広子 議員

- ①ユマニチュードを取り入れた支援は

## P13 福永 善之 議員

- ①103万円の壁、町への影響は

## P13 田代 勘 議員

- ①町が考えている農業の方向性は

## P14 川口 晃 議員

- ①「粕屋久山線」の工事の進捗はしんちよく
- ②「箱崎阿恵線」の工事の見通しは

## P14 山脇 秀隆 議員

- ①ブロッコリーのブランド化を

## P15 本田 芳枝 議員

- ①男女共同参画推進事業評価の分析は

## P15 古家 昌和 議員

- ①1か月児と5歳児健診の導入の予定は

町長

田川

子ども未来課長

田川

子ども未来課長

田川

町長

### 仲原保育所の 建て替えは

#### 検討をしている状況



たがわ  
まさはる  
田川 正治 議員

動画はコチラから



仲原・中央両幼稚園の新園児募集停止に伴う園児減少による職員数の減少で、仕事や責任が増大しているのでは。

園児の減少により、職員を減らしていかないで、それによって業務が増大していることはない。幼稚園長が2園を兼務する運営は幼稚園設置基準で問題では。

設置基準には、園長を置くと記載されているので、兼務でも問題ではない。  
仲原保育所の建て替えと耐震診断の実施計画は。

将来的に仲原幼稚園は、小規模保育園にすることを考えている。並行して、仲原保育所の建て替えについて検討している状況で、これは全く変わっていない。建て替え場所は農協など民間法人の斡旋などを参考にしたい。

町長

い。耐震診断の基準の対象ではないが、専門的な設計業者の知見も協議しながら、今後検討していく。

### 会計年度任用職員の 処遇改善は

#### 総務課長

#### 正規職員に準じ、現在準備中

田川

正職員の給与改定時期に準じ、今年度4月からの給与と遡及の実施と、3年目の壁となる2年を超えての連続任用の実施計画は。

総務課長

給与改定は正規職員の取り扱いに準じ、例規の改正や4月に遡及した差額の支給について現在準備を進めている。公募によらない再度の任用は、令和7年度から回数制限を設けない運用を考えていく。

その他の質問

● 現行の国民健康保険証廃止に伴う行政手続きなどの諸問題について



いのうえ まさひろ  
**井上 正宏**  
議員

動画はコチラから



## ワンヘルス宣言を 行うのか

町長

知識を得た上で  
宣言するであろう

井上 令和6年3月定例会にて、町長はワンヘルスは、今後研究しながら検討を行うと発言した。その後の進展は。

町長 令和6年5月末、福岡県主催の市町村ワンヘルス担当者向けの説明会、意見交換会に参加した。今後、さまざまな勉強をした上で、宣言するということになるかと思っている。

井上 町民の生命を守るにあたり、人獣共通感染症対策、薬剤耐性菌対策、および環境保護における対策は。

町長 県から市町村レベルで計画を立てなければいけないという指示は受けていない。

町長

町もさまざまな研究勉強もしながら、住民に対する周知を図っていく。

※ワンヘルスとは

(厚生労働省資料)

動物からヒトへ、ヒトから動物へ伝播可能な感染症(人獣共通感染症)は、全ての感染症のうち約半数をしめています。また、抗菌薬の不適切な使用を背景としたヒト、動物、食品、環境における薬物耐性(AMR)を持つ細菌の出現が、国際社会で大きな課題となっています。ワンヘルス・アプローチは、こうしたヒト、動物、環境の健康(健全性)に関する分野横断的な課題に対して、関係者が協力し、その解決に向けて取り組むことを指します。この動きは世界的にも広がっています。



FUKUOKA ONE HEALTH  
福岡県ワンヘルス  
ロゴマーク



むちま なおずみ  
**鞭馬 直澄**  
議員

動画はコチラから



## 住民に対する 防災知識の普及は

町長

周知と啓発は  
一番大事なこと

鞭馬 住民への防災知識の周知方法と理解度は。

町長 周知の方法は以下のとおり。  
①令和元年度に防災マップを全戸に配布。  
また、転入手続きの際にも配布。  
②町公式ホームページに防災に関する内容を常時掲載。  
③毎年、広報かすや6月号に防災に関する記事を掲載。  
④各自主防災組織で行われる防災訓練で、震災を想定した講座と訓練を実施。  
⑤令和6年6月の生涯学習研修会で、過去の震災例を挙げて「自助・共助」の必要性の啓発。理解度については、令和6年2月に実施した町民意識調査で「口頭から災害用備品を準備していますか」の問いに対して「準備していない方」が33.4%と多く、「あまり準備していない方」を合わせると65.7%の方が準備していないとの回答。災害全般に対して住民の意識が低い状態と認識している。

協働のまちづくり課長

備していますか」の問いに対して「準備していない方」が33.4%と多く、「あまり準備していない方」を合わせると65.7%の方が準備していないとの回答。災害全般に対して住民の意識が低い状態と認識している。

鞭馬

多くの住民に理解してもらえ  
る伝え方は。

協働のまちづくり課長

震災への備えに対して、当事者意識を持っていただくことが必要。その方策として令和7年度に「粕屋町総合防災訓練」を実施予定。

鞭馬

保護者を含めた、合同での「防災訓練・避難訓練」を実施する考えは。

町長

子どもたちの安全安心を確保する意味でも、一緒に訓練に参加していただけるように計画を進める。子どもたちの口から心から保護者に伝えることが、非常に総合的には効果があると考え、ぜひ実施していきたい。



案浦 兼敏  
議員

動画はコチラから



### 市制移行に 向けての対策は

町長

さまざまな年齢層と  
対話したい

市制移行に向けて、現在どのような対策を講じているのか。町民への説明や意見交換などは行わないのか。

若者に向けてのシタイプロモーション<sup>※1</sup>強化と市制対策強化のために、行政組織を強化する予定。また、総合計画の策定を視野に入れて、さまざまな年齢層に向けてのタウンミーティング<sup>※2</sup>を行う予定。

市制を見据えた人材育成には、どう取り組んでいるのか。

当初、国・県・民間企業への職員派遣を考えていた。来年度は、まず企業への派遣を予定。

令和7年度から1年間、シタイプロモーション強化のため、メディア関係の企業に職員1名を派遣する予定。

都市計画課長

3町で町村会を  
通じて県へ要望

### 南里新大間線の 早期整備は

都市計画道路「南里新大間線」の早期整備について、県との交渉は進んでいるか。

志免町から酒殿の丸の内交差点までの区間は、県事業としての早期整備を、志免町・須恵町と3町で、町村会を通じて要望している。  
糟屋地区において「南里新大間線」は地域を結ぶネットワークとして重要な機能があり、強く要望している。

※1 シタイプロモーション：地域の魅力や特色をホームページなどで発信し、認知度やブランド力の向上を目的とした活動

※2 タウンミーティング：地域住民の生活に関わる事項を話題とする対話集会



宮崎 広子  
議員

動画はコチラから



### ユマニチュードを 取り入れた支援は

介護福祉課長

さまざまな方法を  
調査し工夫していきたい

令和6年認知症基本法が施行。これは、一人一人が尊厳ある人として、その能力を十分に発揮しながら、共に支え合って生きる社会を目指す法律。令和7年は、5人に1人が認知症になるという統計。その支援の一つに、ユマニチュードという考え方や技法がある。介護疲れによる離職が減り、認知症の薬の使用量も減るといった経済的効果も出ている。町の支援に取り入れたい。相談窓口で案内する考えは。

ユマニチュードは、認知症の方に優しさを伝えるコミュニケーション技術で、介護する側とされる側が共に人間らしく寄り添

介護福祉課長

うことを大切にし、ケアを受ける人の「人間らしさ」を尊重するものと認識している。

認知症サポーター講座では、認知症の症状や接し方、関わる側の心構えなど、認知症の方の尊厳を大切にしたいユマニチュードの考え方に通じる内容になっている。今後、さらにみんなが支え合う地域づくりを目指し、ユマニチュードの研修や動画紹介も含め、さまざまな方法を調査し、工夫していきたい。



ユマニチュードの4つの技法

その他の質問

●ひとり住まいの高齢者の安全  
安心について



福永 善之 議員

動画はコチラから



### 103万円の壁、町への影響は

総務部長

約9億4千万円の減収になる

衆議院解散総選挙で与党が過半数割れ。予算を通すには、野党の協力が必要になった。国民民主党は、所得税が課税されない金額を現行の103万円から178万円に引き上げるように主張。この政策は、SNSで注目を集めている。町の減収分の試算額と対応は。

総務部長  
178万円まで引き上げられた場合、約9億4千万円の減収になる見込み。

副町長  
全国町村会は、地方財政に影響が出ないよう財政措置を国に求めていく。また、町としては、国の検討状況を注視していく。



田代 勤 議員

動画はコチラから



### 町が考えている農業の方向性は

町長

非常に悩ましい問題

国は、食料安全保障の確保の強化に必要な農地面積の明確化など、令和7年3月末までに市町村が地域計画を策定することを義務化、農業振興地域の整備に関する法律（農振法）では、国は農用地区域からまとまった農地の転用に対し、要件を厳格化するとしている。一方で2024年問題の対応の一環として、高速道路のインターや幹線道路周辺での物流施設を建設する際に、市街化調整区域内の土地開発許可に関する配慮を示している。

田代  
将来性が高い町として、選択次第では、今後の町の発展や農家にも影響があると思われるが、これからの農業施策をどう考えているか。

町長  
国は、食料安全保障については真剣に考えるべきで、地方自治体からも声を上げていきたい。しかし地域的な条件として都市政策が関わるので、非常に悩ましい問題だが、食・農を考えなければならぬ観点は不動だ。

田代  
今後の町の方向性として、農業を進めていくのか。もしくは開発を進めていくのか。

町長  
町の立地として、非常に企業進出が多い中、物流関連の発展が大きく、これは紛れもない事実だ。確かに農業は大事だが、農家の考え・意見はさまざまであり、農区長を中心として細かい協議を重ね、農地をどうしていくのかは重要視したい。私が、これで行くんだというような独善的な判断は差し控えたい。

その他の質問  
●町の投票率について  
●LINEを活用した行政サービスについて



川口 晃 議員

動画はコチラから



### 「粕屋久山線」の 工事の進捗は

都市計画課長

令和7年度末の  
完成予定

「粕屋久山線」の工事は、結構前から始まっている。現地を見たが、橋脚の上に梁を乗せる工事が行われていた。これが終わると、工事は一挙に進むものと思う。工事の見通しと完成予定は。

#### 都市計画課長

「粕屋久山線」は、国道201号広田交差点から多々良川に橋梁を架け、福岡市土井方面を結ぶ都市計画道路として整備中。現在橋梁上部の工事を行っており、来年度は、橋梁上部の舗装・高欄設置工事や全線の舗装を行い、令和7年度末に完成予定。

### 「箱崎阿恵線」の 工事の見通しは

都市政策部長

将来交通量推計を  
基に総合的に検証

「箱崎阿恵線」は、20年前くらいに決まり、柚須の農家も大勢関係していた。

今までに、工場やマンションなどの住宅も進出し、この道路の行く末を疑う。柚須区の北側部分、数十戸がこの道路によって切り離される。どのような事情があつて進まないのか。工事計画は。

#### 都市政策部長

国道3号線バイパス東側の福岡市工区と粕屋町工区が残っている。今後の都市計画道路については、今回、町が進めている将来交通量推計も一つの資料として、広域道路網の役割も考え、総合的に検証していきたい。



山脇 秀隆 議員

動画はコチラから



### ブロッコリーの ブランド化を

町長

さまざまな機会に  
広めていきたい

ブロッコリーが指定野菜となる。町の特産品となった背景は。

粕屋町誌の記載では、駕与丁周辺の丘陵地で、戦後30haの山林を開墾し、昭和33年ごろからブロッコリー生産の発祥となり、昭和61年に県から野菜集団産地の指定を受けている。

発足時には、農家数17名で面積が20ha、生産量150tで、昭和60年には、収穫量228tに増えたということも記載されている。

#### 山脇

#### 地域振興課長

#### 町長

#### 山脇

農業振興として外せない野菜だが、町の支援策は。

町の転作支援事業としては、水稲以外の作付に10a当たり1万円の助成を行なっているが、国の産地交付金では、通常の野菜では10a当たり7千円のところ、ブロッコリーは1万1千円と、差別化は図られている。

今後、ブロッコリーを町の特産物として地位を上げる、ブランド化について、どのようにアピールするのか。

これまで商工会とのコラボやメディアでの紹介、学校給食の取組を行ってきた。さまざまな機会を捉え、農協とタイアップして今後も広めていく。

#### その他の質問

●九州大学農場跡地について



ほんだ  
芳枝  
議員

動画はコチラから



## 男女共同参画推進 事業評価の分析は

協働のまちづくり課長

意識低下傾向にあるが  
地道に啓発

本田

令和6年度は第2次粕屋町男女共同参画計画策定年度。意識調査によると、地域社会における女性の参画に関しての評価はC、Dという結果だ。町の女性議員の割合は12・5%。組織や地域で、女性が活躍すること自体が難しい状況にあるようだ。女性の人材育成、地域での女性のありよう、各審議会での女性委員に対して、もっとエンパワメント支援が必要ではないか。低評価の分析は。

第2次粕屋町男女共同参画計画を策定するに当たっての意識調査の項目「市町村長や地方

協働のまちづくり課長

自治体議員への就任や立候補を依頼された場合の対応」という設問では、前回の平成31年と令和5年とを比較すると「引き受ける」が7・2%↓5・3%に減り、「断る」が85・3%↓90・2%に増加。この5年間に公職や役職に就くことを望んでいない人が9割近くに増えている。役職を断る理由に関して、「時間的余裕がないから」という女性が、今回の調査で8ポイント高くなってきている。これには、子育て、介護、労働時間などいろいろなものが起因してくると推測。単独では難しい課題だが、これからも啓発を地道に続けていきたい。

※エンパワメント

文化的、社会的、政治的、経済的によって、本来持っている能力や個性が発揮されずにいる人に対し、周囲の環境を整えて力を引き出せるようにすること

教育委員会事務局次長

就学前健診は健やかに学校生活を送ることができるよう、入学準備を目的として実施。内科・歯科健診のほか、給食センター・健康づくり課・学校の先生方とも連携し、食物アレルギーや栄養に関する相談、予防接種などの状況確認、学校生活への不安などの相談を実施。

子ども未来課長

1歳6か月児健診と3歳児健診のほか、町独自としては4か月児健診、10か月児健診、2歳児歯科健診を実施。

古家

町独自の乳幼児対象の健診とは。また、就学前健診実施の目的と内容は。

町長

1か月児と5歳児  
健診導入の予定は  
令和7年度と8年度に  
実施したい



ふるい  
昌和  
議員

動画はコチラから



古家

1か月児と5歳児健診の導入にはどのような課題が想定されるのか。

子ども未来課長

現在、1か月児健診については、全額自己負担でほぼ全ての方が受診している。5歳児健診の実施には医師や保健師、心理担当職員・言語聴覚士・作業療法士の確保と、健診後のフォローなどが課題。

古家

現状では4、5歳児の支援体制が整っていない。これでは切れ目ある支援だと感じられるのでは。発達に特性のある子どもたちを、3歳児健診で見つけるのは困難と言われている。1か月児と5歳児健診導入の予定は。

町長

1か月児健診の助成を令和7年度から、5歳児健診は、子ども特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援を行うという目的を達成するため、早ければ令和8年度から実施したい。

協働のまちづくり課長



# 交流ひろば

～かすやびと  
スポットライト～

今回のかすやびとは、特集でも取り上げた「クリスマスコンサート2024」を企画・主催された「かすやコーラスうたい隊」の指導者 <sup>いなながけいこ</sup> 稲永恵子さんです。



## コンサート開催のきっかけは？



日頃の練習が月に1度しかないの  
で、他のグループとご一緒に楽しく  
できたらいいなと思い、ご縁のある  
方々に呼びかけました。



## たくさんの方がいました。 お客様の反応はどうでしたか？



さくらホールが満席になるほどで、  
皆さんにとっても喜んでいただけま  
した。



## 音楽とまちづくり についてはどんなお考えを お持ちですか？



音楽には力があります。  
人と人をつなぎ、心を育  
てます。「音楽で地域を盛  
り上げる」活動を粕屋町  
で続けたいです。



### 編集後記

昨年末に開催された「クリスマスコンサート2024」では、手づくり感があり、また、子どもから高齢者までの合唱があるなど、心地よい・楽しいひとときを過ごすことができました。

新年、三が日は天候に恵まれ、すがすがしい気持ちで、事故や災害などが無い平穏な1年となりますよう祈りました。

今年は、「第6次粕屋町総合計画」が策定されます。議会は、この計画が「町民による町民のための計画」となるよう、町民の皆さんとの意見交換の機会を増やしたいと思っています。

5人以上集まれば、議会からお伺いします。ぜひ、議会へのリクエストをお願いします。

かねとし

## お知らせ

次回3月議会は・・・

2月27日(木)

9:30 開会(予定)

3月3日(月)から

9:30 一般質問(予定)



あなたのモラルで、助かる「命」があります



見やすいユニバーサル  
デザインフォントを採用  
しています。

※QRコードは(株)デンソー  
ウェブの登録商標です。